

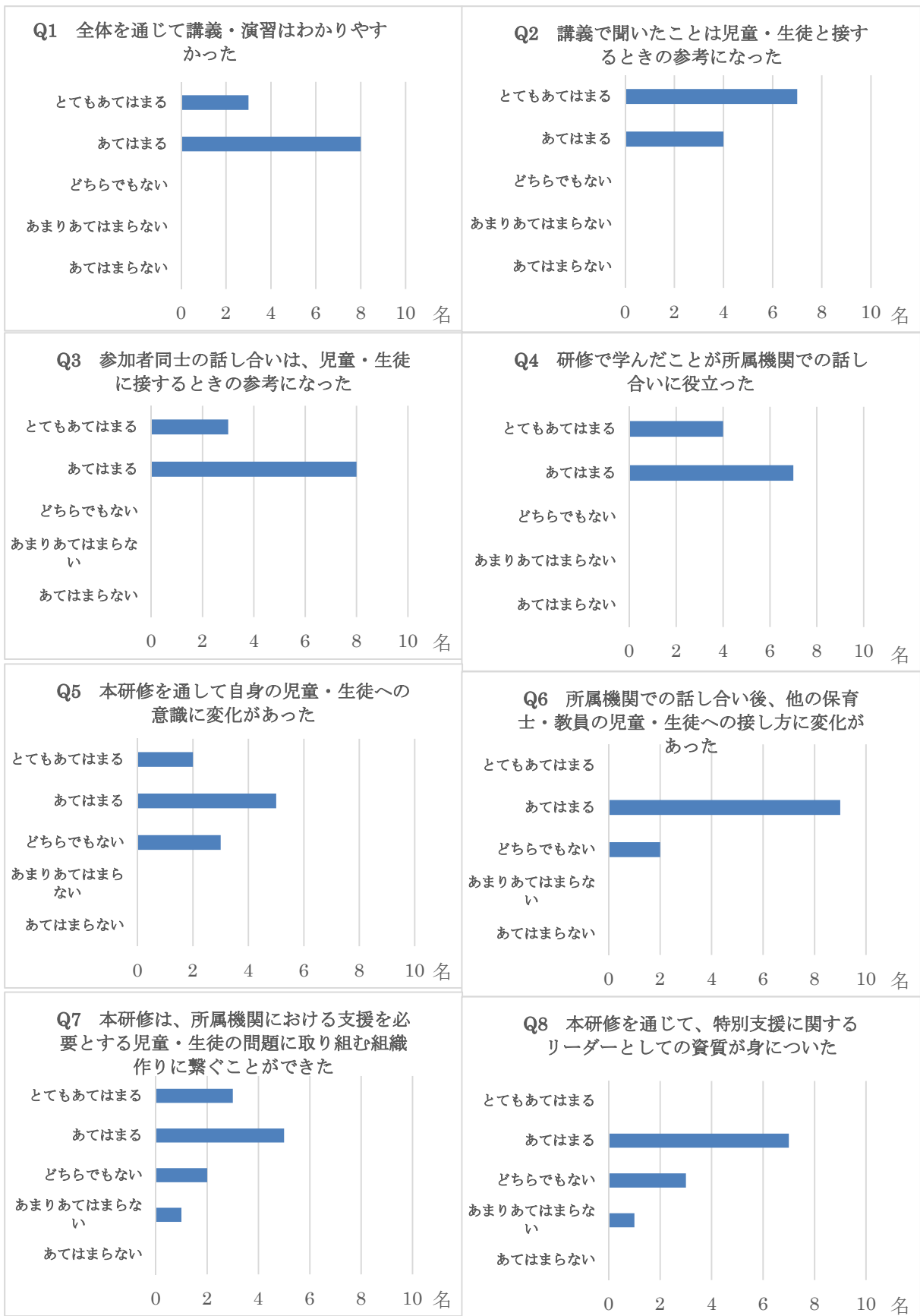
平成25年度「倉吉市特別支援リーダー育成研修会」

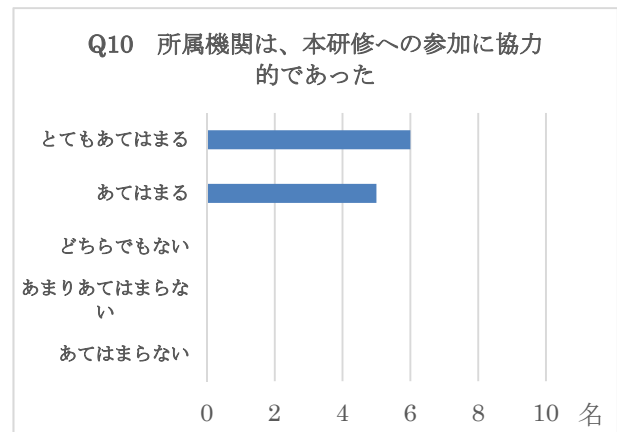
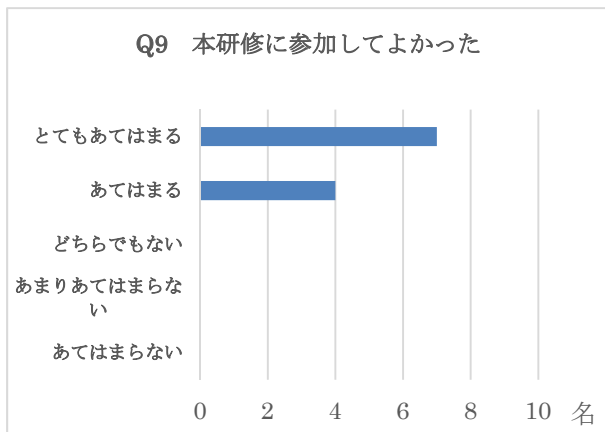
- 1 目的 発達障がい等配慮を要する児童生徒に対する応用行動分析の知識と技術を学び、問題行動に対して適切な対応ができ、特別支援教育に関する事例検討で指導や助言のできるリーダーを養成することを目的とする。
- 2 実施日 12月19日（木）13：00～16：45（第4回）
- 3 主催 倉吉市福祉保健部子ども家庭課 倉吉市教育委員会学校教育課
- 4 対象者 保育士、小中学校教諭
- 5 講師 井上 雅彦 氏
(鳥取大学大学院医学系研究科臨床心理学講座教授)
- 6 内容
テーマ
「ストラテジーシートを使った応用行動分析のまとめ」
 - ◆演習 ストラテジーシートを使った応用行動分析の事例検討
 - ◆講義 グループ会議の指導について大切なこと

他園・他校の実践事例に対して、指導者としてのアプローチを演習の中に取り入れ研修を行った。保育士・教師の園児や児童生徒への指示の言葉が、スモールステップであればあるほどたくさんの支援パターンができることを学んだ。



7 研修後のアンケート結果と感想





- 本研修を受けている時は、理解できているように思うが、実際自園の中で、他の保育士とともに園内研修をしようとする、なかなかアドバイスができるようにならない自分の未熟さがなげない。まだまだ勉強不足であるため、研修を積みたいと思う。
- グループにわかれての話し合いは、緊張することなく、先生方からいろいろなアドバイスをいただくことができ、とても勉強になった。しかし、自分が理解できている、自園に持ち帰り他の職員に理解してもらうのにまだ不安がある。
- 研修を重ねて行く度に、児童の問題行動のきっかけや事前の対応の工夫改善等を頭の中で考えられる職員も多くなってきた。本来は、頭の中だけでなく、ストラテジーシートに落としとして考える癖をつけていかなければならないと強く思う。シートに落としとしての話し合いは、やればやっただけの結果がでると実感しているが、話し合いにむかうまでに時間がかかるので、常にそういう意識を持って児童の指導にあたりたい。
- 思春期まっただ中の中学生の指導においては、本人の同意や納得が必要であることを実感した。応用行動分析の話し合いで決定した生徒への対応について、該当生徒にも納得させての指導が良い結果に結びつきやすく、生徒自身も自分の生活においてプラス面の変化を感じることができると思った。
- ストラテジーシートについての研修は、2回目であるが、1回目より今年度の研修の方がずいぶん分かりやすかった。今後も、自校で継続した実践をしていきたい。
- 職員数が少ない学校では、なかなか出にくい時間での研修会であった。来年度は、時間等の配慮をしてほしい。